



喜多方ロータリークラブ第25回（通算3228回）例会

日 時：令和3年1月12日（火）12：30
場 所：商工会議所 大ホール
お 食 事：カランドリエ ハンバーグ
会場監督：中野 博正

◎開会点鐘 佐藤 正道会長

◎ロータリーソング ☆第2週 我等の生業

◎四つのテストの唱和

◎お客様紹介 伊藤 二郎副会長

・米山奨学生 スレスタ、ササンカ 君 ♪ようこそ、いらっしゃいませ♪

◎お食事をどうぞ

◎会長挨拶 佐藤 正道会長

◎幹事報告（理事会報告・来信・お知らせ） 瀬野 勝治幹事

- ・米山記念奨学会より、事務局勤務体制及び申告用領収証についてのご連絡 接手
- ・会津若松西・会津若松中央各 RC より、1月例会プログラム 接手

◎ロータリー財団 ポールハリスフェロー表彰授与式

・・・ 庄司 英喜 会員



◎米山奨学生 スレスタ、ササンカ君へ奨学金贈呈及びご挨拶



◎委員会報告

◎ニコニコBOX (1/5例会分も発表)

◎出席報告

◎閉会点鐘

喜多方ロータリークラブ クラブ協議会 (上期活動報告)

(2020-2021 年度)



日 時 令和3年1月12日 (火)

場 所 商工会議所2F大ホール

◎開 会 幹 事 瀬野 勝治

◎会長挨拶 会 長 佐藤 正道

《クラブ協議会》 議長 会 長 佐藤 正道
会長指名により順次発表

■会場監督

中野 博正

■クラブ管理運営委員会

出 席

親睦活動

プログラム

伊藤 二郎 担当理事

渡邊 仁 委員長

大森 佳彦 委員長

池亀 武雄 委員長

■会員組織委員会

会員増強 職業分類・選考

ロータリー情報

庄司 英喜 担当理事

五十嵐 健展 委員長 (代理：庄司理事)

渡邊 仁 委員長

■広報委員会

雑 誌

公共イメージ・クラブ会報

佐藤 日出夫 担当理事

飯塚 幸作 委員長

神野 誠 委員長

■奉仕プロジェクト委員会 (I) 樫内 秀司 担当理事

職業奉仕

社会奉仕

五十嵐 吉也 委員長

大森 幹久 委員長 (代理：風間副委員長)

■奉仕プロジェクト委員会 (II) 鈴木 朝男 担当理事

青少年奉仕

国際奉仕

角田 龍一 委員長

鈴木 朝男 委員長

■財団委員会

ロータリー財団

米山記念奨学会

佐藤 富次郎 担当理事

齋藤 邦雄 委員長

高橋 亮一 委員長

■戦略計画委員会

星 富士雄 委員長

■会 計

高野 真司

■会計監査

佐藤 健一

◎閉 会

幹 事 瀬野 勝治



【佐藤正道会長挨拶】米山奨学生のササンカ君お帰りなさい。元気な姿を拝見できて大変うれしく思います。後程11か月ぶりの挨拶を頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

先週の新年会は、喜多方市新型コロナウイルス感染症対策本部からの自粛要請により、急遽食事を伴わない夜の例会スタイルに変更となりました。新年会を楽しみにしていただいていた会員の皆さんには大変申し訳ございませんでした。また突然のプログラム変更に対応していただいた皆さんに感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、人の移動や会食が懸念されるこの年末年始は会員皆さんも例年とは違った不自由な生活を送られたことと思います。その努力の

甲斐あって、全国的に感染者が増える中においても、喜多方市では先月18日以来感染者が報告されていません。県内の状況を見ますと、昨年末に福島市でクラスターが発生し、年末の10日間で128人、人口10万人当たり4.6人の感染者が発生しました。福島市が緊急警報を発令した事もあり、今年に入ってからはこの10日間で26人、10万人当たり9.4人まで抑え込んでいます。これとは逆に感染者が増加しているところがあります。会津若松市では昨年末10日間で感染者が12人、10万人当たり10人だったのが、この10日間で42人、10万人当たり35.5人と昨年末の3.5倍に感染者が増加しています。会津若松市では独自の強い警戒の呼びかけはなく、県の協力要請をなぞったものでした。その結果が数字に表れてきているのだと思います。会津若松市は同じ生活圏でもありますので、引き続き私たちも今まで同様の警戒意識を持ち、確実な感染対策を講じていかなければいけません。皆さんのご協力をお願いいたします。

今回ササンカ君の帰国に際し、国の水際対策についても所見を述べたいと思います。帰国日が12月25日に決まり、ササンカ君の入国後の対応を相談すべく厚生労働省の相談窓口で電話をしたところ、入国に際し、出国の72時間以内のPCR検査の陰性証明書が必要で、ネパールからの入国者は2週間の隔離措置が必要であり、隔離場所は自宅若しくは宿泊施設で、自宅等への移動には友人知人の送迎が必要とのことでした。尚、宿泊施設は各自で手配し、所轄機関では斡旋や紹介はしないそうです。この内容を受けて、宿泊施設や会津までの送迎業者に問い合わせをしたところ、ネパール国内でPCR検査が陰性でも日本の空港の検査で陽性になるケースが度々あるようで、仮に陽性の結果が出た場合は療養施設での隔離になります。これらの状況を総合的に判断した結果、鈴木朝男さんと共に車で迎えに行くことにしました。そして飛行機着陸から4時間後再開することができ、隔離シールドを施した車で無事にササンカ君のアパートまで送り届けることができました。

ここで国の水際対策について疑問に思ったことですが、仮にササンカ君がスーツケースを空港から宅配便で送り、身軽な装いで電車に乗り、公共交通機関を利用して自分のアパートまで帰ったとしても誰も確認できません。空港でササンカ君と再開するときに送迎人の確認もされない為、検疫所には友人の送迎で自宅に帰ると登録しても、その後は自由に行動ができるのです。このような対策では、海外からウイルスが持ち込まれる可能性が高く、いくら国内で必死に感染対策を講じてもその努力は報われません。実際イギリスから帰国した男性が健康観察の14日間に発症し、濃厚接触者に感染した例がありました。

こんな現状ですので、まだまだコロナウイルスは終息しそうにありません。不自由な生活スタイルが続きますが、共にこの苦難を乗り越えていきましょう。

今日はクラブ協議会です。半期の反省をしつつ後半の事業の展望を協議したいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。